

こんにちは！お元気ですか。

マツサカエンジニアリング メルマガ 39 号を送ります！お楽しみください！

（※お電話頂いた時は・・・お電話有難うございます。

メック（英文名：Matsusaka Engineering Co.,Ltd の頭文字で MEC）です！と応答しますので宜しくお願いします）

—★ News Topics ★—

- [1. MEC 製品情報] 世界のどこかで今日も QP 高圧ポンプが役立っています！
 - [2. MEC 技術部発信] ～吐出量少ないぞお・・・ちょっと待ってー！それ本当にポンプの故障？～
 - [3. MEC 資材管理部発信] 水曜日の納品物語 ありがとう～！雨の日も風の日も～
 - [4. MEC 四方山話] 卯月、春、桜とともに歩み出す 出会いと別れの季節！
-

☆☆—————☆☆

MEC 製品情報：世界のどこかで今日も QP 高圧ポンプが役立っています！

—————☆☆

ちょっと手前味噌ではありますが、QP ポンプといえば、高所・遠所への送水を得意とする高圧ポンプシリーズをはじめとした品揃えが半端ない！というのは既に皆様ご承知の通りかと思います。「たかがポンプ、されどポンプ」世界の人の仕事や暮らしを支え、大雨や洪水そして山林火災や水不足渇水時には非常に重要な役割を担う、品質の良い高圧ポンプシリーズがまさに百花繚乱の如し！なんです！

<https://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2026/04/PDC002503.pdf>

日本国内の農業分野ではスプリンクラーを使った灌水や水源から遠く離れた場所への送水、土木建設分野では解体現場での防塵散水、漁業分野では漁網の洗浄などその高い圧力を利用し様々な用途に使われています。

https://www.youtube.com/watch?v=3H_kZnxoQxQ

しかし、QP 高圧が一番売れているのは日本ではなく実はオーストラリアなんです。なんでオーストラリア??

皆さん NEWS でオーストラリアの草原が火事になりコアラやカンガルーが逃げ惑っているのを見たことありませんか？オーストラリアは林野での自然発火も多く発生します。郊外では自宅を類焼から守るため散水・放水するという目的を主として販売され、なんと年間 1 万台以上出荷されているんです！

豪州代理店 Australian Pump では、火災に備えた準備を促すカタログを作成していますが、ただ製品を並べるのではなく用途の提案までしているところに営業の工夫を感じます。

<https://aussiepumps.com.au/pumps/qp-pumps/fire-fighting-pumps/>

また用途に合わせてポンプに独自のネーミングをしており、例えば QP-205S は“Fire chief”と名付けられているあたりも面白いところです。

昨年カリフォルニアで発生した大火災は記憶に新しいところですが、米国においても家屋を火災から守るため QP-T305SLT を使い類焼を防ぐシステムがビバリーヒルズで稼働し始めています。

<https://www.youtube.com/watch?v=ES9W0wHFyTs>

世界中どこでも起こりうる災害から人命や財産を守るために活躍している QP ポンプの情報でした。

（営業部 輪嶋記）

☆★—————☆☆

[MEC 技術部発信] ～吐出量少ないぞお・・・ちょっと待ってー！それ本当にポンプの故障？～

—————☆☆

「最近なんだか水の出が弱い気がする」、「前はもっと勢いよく出てたはずなのに」そんなとき、ポンプの故障！と決めつけるのは少し待ってください。実はちょっとした原因で吐出量が落ちていることが結構あるんです。今回は、吐出量が減ったと感じたときのチェック事項をまとめましたので、ポンプのことは全て熟知しているよという玄人の方も是非、初心に返ってご一読いただければ幸いです。

① ストレーナーの詰まり

意外と多いのがこれです。落ち葉、藻、ゴミなどにより目詰まりするとポンプは懸命に回っているのに水が入りにくくなります。取り外して水洗いすることで復活するケースが多いです。

② 水位が下がっている

渇水の時期は要注意。ストレーナーが水面ギリギリだと空気を吸ってしまい、スムーズな水の流れを妨げてしまいます。ストレーナーの位置がよく見えないときは、水面に渦が巻いていないか、ゴボゴボ音がしていないかをチェックです。

③ ホースが長すぎる

遠い現場もあるからとりあえず長めにするなど、必要以上に長かったり、何度も曲がりがあったりすると配管抵抗が大きくなります。配管抵抗＝ロスなので、流速が下がって吐出量が下がってしまいます。できるだけ短くまっすぐにすることが大切です。

④ 揚程が高すぎる

ポンプを使用するうえで、水源からポンプ、ポンプから吐出ホース先端までの高さには限界があり、その限界値はポンプ毎に異なります。

例えば、全揚程 28m の QP-105 だと、ややこしいことは抜きで単純に考えるなら水源から吐出ホース先端までの高さが 28m を超えると水は一切出ない理屈です。（注：水源からポンプまでの高さはどのポンプであっても通常 6～7m と設定しています）実際のところ、ストレーナーやホース長さ、曲がりなどで抵抗＝ロスが発生するのでもっと複雑になるので触れませんが、無意味に高い位置で使用するのをおすすめできません。

⑤ エア噛み

接続部の緩み、パッキン劣化、ホースひび割れなどもチェックです。空気を吸い込んでしまうと吐出量は不安定になります。水が脈を打っている感じがあれば要チェックです。

以上のように、吐出量低下は意外と環境要因が多いのです。

今回はポンプ側に絞ってご紹介しましたが、ポンプの故障と感じたら、このあたりを順に見ていけば問題解決できるかもしれません。トラブルシュートを通して皆様にポンプのことをもっと知ってもらえれば、いつの間にかポンプのプロフェッショナルになっていると思います。

★動画はこちら↓

https://www.youtube.com/watch?v=H41dL--_4yc

(技術部 眞弓記)

☆☆—————☆☆

[MEC 資材管理部発信] 水曜日の納品物語 ありがとう～！雨の日も風の日も～

☆☆

水曜日というと、週の折り返し地点です。

「あと半分」とホッと胸をなでおろすか、「まだ半分ある」と気を引き締めるか。皆さんはどちらのタイプでしょうか？

さて、今日はそんな「水曜日」が納品日となっている、取引先のT社さんをご紹介します。

三重県鈴鹿市に拠点を構えるT社さんは、少数精鋭ながら、愛知県や三重県の鋳造メーカーを主要な取引先に持つ企業です。手掛ける部品は、トヨタ、ホンダ、三菱といった大手メーカーの自動車部品をはじめ、工具類や船外機にいたるまで多岐にわたり、製造現場の重要な工程を支えておられます。

専門とされているのは、アルミダイカスト部品を中心とした「バリ取り」です。「バリ」とは、鋳造の過程で型の継ぎ目などから漏れ出した材料が固まってできる余分な突起のこと。これを取り除き、図面通りの形状に完璧に整えるバリ取りは、一見シンプルですが、製品の安全性や品質を左右する非常に重要な工程です。複雑な形状の自動車部品や精密な工具類には、機械だけでは取りきれない微細なバリが残ります。これを一点一点、熟練の感覚で仕上げていくのが強みです。また、技術力が高いだけでなく、現場への対応も非常に柔軟です。ダイカスト部品は、金型の経年劣化によって発生するバリの形も刻々と変化していきます。その変化に合わせて作業の追加や変更が必要になりますが、その都度、最適な加工方法を提案してくださるため、非常に大きな信頼を寄せています。

毎週水曜日、4tトラックの荷台いっぱいには、バリ取りを終えた部品が積み込まれて納品されます。250t～800tのアルミダイカストマシンで鋳造された、ポンプを構成する約10種類（各1,000個前後）もの部品群です。丁寧に仕上げられた製品を見るたび、こちらの背筋も伸びる思いがします。

これからも質の高いポンプを作り続けていくために、これまで以上に良きパートナーとして共に歩んでいきたいと考えています。

★匠の技写真はこちら↓

<https://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2026/04/parts-pic.pdf>

<https://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2026/04/wing-truck.pdf>

(資材管理部 杉本記)

☆☆—————☆☆

[MEC 四方山話] 卯月、春、桜とともに歩み出す 出会いと別れの季節！

☆☆

四月、桜がほころびはじめる頃になると、景色は一気に春らしい色合いへと移り変わります。二十三年前に会社の敷地へ植えた四本の桜も、今では社員が集まり、お花見ができるほど立派に育ちました。毎年変わらず、この季節の

訪れを知らせてくれることに、ささやかな喜びを感じます。

近くでは、松阪城跡や大紀町の大内山川の河川敷、野原公園なども見頃を迎え、地元のあちこちで春の風景が楽しめます。そうした中、真新しい制服に身を包んだ姿と、咲き誇る桜が織りなす光景には、この時期ならではの穏やかなあたたかさが感じられます。

春は、出会いと別れの季節でもあります。別れには寂しさもありますが、桜の下で交わした言葉や想いは、それぞれの心に残り、新しい道を歩む力となってくれることでしょう。

新しい生活が始まる四月。

皆さまにとってこの春が、実りある良いスタートとなり、桜のように明るく花開く一年となることを願っております。

“ 4月 春来たりなん 別れと新たな出会い！ どうしても桜に繋がります～全社から社員が撮影した身近な桜写真を集めてみました！ご賞味あれ！ “

<https://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2026/04/cherry-blossom.pdf>

(総務経理部 佐野記)

では、今日はここまで！！

最後までお付き合いいただき、誠に有難うございました。

また、次回も宜しくお願い申し上げます。



○メール配信停止をご希望の方はこちらまでご連絡ください。

(配信停止以外のお問い合わせは、担当営業までお願い致します)

info@qp-pump.com

○配信元：株式会社マツサカエンジニアリング

<https://www.qp-pump.com/>

東京本社

東京都千代田区神田松永町 2 3 番

TEL : 03-3257-6130

FAX : 03-3257-6129

工場

三重県多気郡多気町野中 2 1 5 5

TEL : 0598-39-3211

FAX : 0598-39-3131

発行/(株)マツサカエンジニアリング 営業部

